

2011年6月14日

## 新しい「疾患啓発広告・プランニング支援システム」を開発

—「受診行動予測モデル」により広告投資の最適化が可能に—

株式会社電通は、製薬企業が実施する疾患啓発広告を、より効果の高いものとするために、疾患啓発広告プランニング・支援システムを開発し、提供を開始いたしました。

このシステムは、生活習慣病を始めとする111疾患の意識と行動について3万人を対象に調べた結果をもとに、疾患の気づきから受診に至るまでの広告プランニングと、「受診行動予測モデル」による広告投資の最適化をサポートするものです。

現代の医療において、がんや心臓疾患、糖尿病など治療に長い時間を要する、あるいは根治の難しい慢性的な疾患が、治療対象として極めて高いウエイトを占めるようになってきました。そのため、患者のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）の維持・向上の観点から、病状の重篤化や合併症の発症を未然に防ぐ「早期発見・早期治療」が重要な課題となっております。

電通が111の慢性疾患について調べたところ、受診経験者のうち「早期のうちに治療を始められた」と感じている人は、半数にも達しませんでした。

この状況を改善すべく、製薬企業により実施が相次いでいるのが「疾患啓発広告」です。疾患啓発広告とは、疾患名や症状を伝え、疾患リスクの自覚促進や医療機関への受診を勧奨する広告ジャンルです。一般生活者にとっては広告に接することにより最新の医療情報を学ぶきっかけが生まれ、一方、広告主である製薬企業にとっても潜在患者を掘り起こし医療用医薬品の売上向上につながることから、その広告市場は近年、急速に拡大しています。

電通では、今後も実施が増えるであろう疾患啓発広告をより効果の高いものとするために調査を実施し、111疾患の患者の意識と行動を詳細に分析しました。その結果、疾患から想起される一連のイメージ（患者自身が主観的に捉えた病状やその見通し、検査や治療法の経済的/心理的な負担感、疾患が世の中で話題になっているかなど）が、受診行動を大きく左右していることが分かりました。自覚症状がないために重篤な合併症の発症リスクが過小評価され受診が遅れる、あるいは、ありふれた症状のために加齢や疲労によるものと自己判断され、真の原因疾患が放置されることなどが、患者の主観的イメージにより受診が阻害される典型的な例となっています。

そこで、電通では、このようなく受診行動を阻むイメージ要素>に着目し、そのイメージの転換を通して受診に至るまでの道筋を描く「疾患啓発広告・プランニング支援システム」を開発しました。

このシステムは、疾患啓発広告のプランニングにおける3つのプロセス①ターゲット・プロファイリング、②広告メッセージの開発、③広告による受診行動の予測を有効かつ円滑に進めることを可能にします。とりわけ、受診行動の予測は、様々な要素が関わり合うためにその予測は難しく、製薬企業が広告投資額の決定に難渋する原因の一つとなっていました。その状況の改善を目指し、電通は、広告の単純な認知率に留まらず、疾患イメージなど、受診行動に影響を与える要素を分析・抽出し、それらを組み込んだ「受診行動予測モデル」を完成させました。これにより、いくら広告に投資すればどれほど受診患者が増えるのかを事前に推し測り、広告投資の最適化を図る手立てを提供いたします。

#### 《疾患啓発広告・プランニング支援システムの概要》

##### ① ターゲット・プロファイリング

111疾患・3万人規模の調査をもとに、自覚症状の軽重や生活への影響、併発疾患、受診状況や治療内容、医療情報の入手経路等のデータから、ターゲットの絞り込みとプロファイリングを行います。

##### ② 広告メッセージの開発

疾患ごとにターゲットの受診を阻んでいる<イメージ要素>を明確にし、その分析をもとに受診行動の喚起に有効な広告メッセージを開発します。

##### ③ 広告による受診行動の予測

広告の認知や疾患イメージ等によりどの程度受診患者が増えるかを予測する「受診行動予測モデル」を活用し、広告投資額の最適化を図ります。

このプランニング支援システムは、電通内に組織された、医療分野専門チーム「電通メディカル・ビジネス・ユニット」により運営致します。

#### 《電通メディカル・ビジネス・ユニット》

疾患・医療領域に特化した本プランニング支援システムの開発を手掛けた医療分野専門チーム。一般市場でこれまでに培ってきたブランディングや広告コミュニケーションに精通していることはもちろん、医療分野での豊富な専門知識と経験を有する人材を擁し、医療分野での最適なソリューションの創出をサポートしています。

#### 【内容に関するお問い合わせ先】

(株) 電通 メディカル・ビジネス・ユニット

ビジネス推進局 井上・加納・工藤

ストラテジック・プランニング局 小林

TEL 03-6216-8799 担当窓口：井上・加納

## 【調査対象とした疾患リスト】

## ●循環器（主に心臓の病気）

- 1 狭心症
- 2 心筋梗塞
- 3 不整脈
- 4 心臓弁膜症

## ●呼吸器の病気

- 5 喘息
- 6 COPD（慢性閉塞性肺疾患）
- 7 結核
- 8 睡眠時無呼吸症候群（SAS）

## ●消化器の病気

- 9 胃食道逆流症（GERD）
- 10 慢性胃炎
- 11 機能性胃腸症（FD）
- 12 胃潰瘍
- 13 十二指腸潰瘍
- 14 B型肝炎
- 15 C型肝炎
- 16 慢性腸炎
- 17 過敏性腸症候群（IBS）
- 18 潰瘍性大腸炎
- 19 アルコール性肝障害
- 20 非アルコール性脂肪肝炎（NASH）
- 21 痔

## ●腎臓・泌尿器の病気

- 22 慢性腎臓病
- 23 頻尿・尿失禁（尿もれ）
- 24 過活動膀胱
- 25 前立腺肥大症

## ●女性に多い病気

- 26 子宮内膜症
- 27 子宮筋腫
- 28 更年期障害

## ●骨・関節・筋肉の病気

- 29 関節リウマチ
- 30 頸椎椎間板ヘルニア
- 31 脊椎分離症・脊椎すべり症
- 32 慢性腰痛
- 33 腰椎椎間板ヘルニア
- 34 骨粗鬆症
- 35 変形性膝関節症
- 36 腰部脊柱管狭窄症
- 37 ロコモティブシンドローム

## ●血圧異常と血管の病気

- 38 動脈硬化
- 39 動脈硬化後遺症
- 40 閉塞性動脈硬化症（足の動脈硬化）
- 41 アテローム血栓症（ATIS）
- 42 高血圧症
- 43 脂質異常症
- 44 閉塞性動脈硬化症（ASO）
- 45 下肢静脈瘤

## ●ホルモン・代謝異常の病気

- 46 糖尿病
- 47 糖尿病性腎症
- 48 糖尿病性網膜症
- 49 糖尿病性神経障害
- 50 痛風・高尿酸血症
- 51 肥満症
- 52 甲状腺機能亢進症（バセドウ病）
- 53 甲状腺機能低下症（橋本病）

## ●脳・脊髄・神経の病気

- 54 脳梗塞
- 55 脳出血
- 56 くも膜下出血
- 57 脳梗塞後遺症
- 58 片頭痛
- 59 緊張型頭痛
- 60 顔面神経まひ（ベルまひ）
- 61 三叉神経痛
- 62 肋間神経痛
- 63 認知症・アルツハイマー型認知症
- 64 むずむず脚症候群
- 65 坐骨神経痛
- 66 線維筋痛症

## ●がん

- 67 食道がん
- 68 肺がん
- 69 胃がん
- 70 前立腺がん
- 71 肝臓がん
- 72 乳がん
- 73 子宮頸がん
- 74 子宮体がん
- 75 大腸がん
- 76 その他のがん

## ●目・耳・鼻・口の病気

- 77 緑内障
- 78 白内障
- 79 ドライアイ
- 80 加齢黄斑変性症
- 81 難聴
- 82 メニエール病
- 83 花粉症・アレルギー性鼻炎
- 84 歯周病
- 85 知覚過敏症

## ●皮膚の病気

- 86 アトピー性皮膚炎
- 87 湿疹・かぶれなどの皮膚炎
- 88 慢性じんましん
- 89 ニキビ
- 90 水虫
- 91 爪白癬（爪水虫）
- 92 脂漏性皮膚炎（フケ症）
- 93 乾癬
- 94 帯状疱疹
- 95 帯状疱疹後神経痛
- 96 ヘルペス
- 97 男性型脱毛症（AGA）

## ●感染症

- 98 性感染症（STD）
- 99 HIV/AIDS

## ●こころの病気など

- 100 うつ病
- 101 双極型障害（躁うつ病）
- 102 統合失調症
- 103 自律神経失調症
- 104 てんかん
- 105 ニコチン依存症
- 106 アルコール依存症
- 107 パニック障害
- 108 社会不安障害（SAD）
- 109 睡眠障害/不眠症
- 110 強迫性障害（OCD）
- 111 ED